

トピックス topics

第29号
H25.3

京 農 業 会 議

都 だ よ り



- p 1 ◆ 3ブロックで農業委員研修・交流会
 p 2 ◆ これまでの主な取り組み
 ◆ 農業委員研修・交流会
 ◆ きょうと女性農業委員の会
 平成25年度の活動計画を確認
 p 3 ◆ 第22回京都府農業委員会広報コンクール
 ◆ 農林施策と予算に関する要望が予算に反映
 ◆ 京力農場プランと農地対策の推進へ
 p 4 ◆ 常任会議だより、出版案内ほか

発行 京都府農業会議
 〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内
 TEL:075(441)3660

3ブロックで農業委員研修・交流会

- 北部ブロック基調講演
 地域の農地保全是全員参加で
 (株)グリーンひょうご西 常務取締役 大塚 正稔 氏



地域で話し合った結果、基幹作業は引き続き、(株)グリーンひょうご西にお願いすることとなりました。でも、草刈りと水管理は、自分たちで行う…。



京都府農業会議は、2月18日の北部ブロックを皮切りに、府内3カ所で「ブロック別農業委員研修・交流会」を開催しました。

交流会には延べ200名の農業委員が参加。各ブロックとも他府県からの報告を受けて、地域農業が直面する課題と農業委員が果たすべき役割について研修・交流しました。(2頁へ)

- 南部ブロック基調講演
 話し合いの牽引役は農業委員で
 姫路市農業委員会会長 池内 宏行 氏



これから水稲作をどうしていくか、若い人達に話し合ってもらいました。若い人達が農業に目を向けるきっかけになった—



- 都市ブロック基調講演
 市民農業者制度と“農地の
 社会化”の推進について
 南足柄市大型直売交流施設担当部長 古屋 富雄 氏



農業委員会では、レクリエーション的な農業をしたい人の相談にも乗っています。市では、3～10㍍程度耕作する定年退職者なども市民農業者として担い手に位置づけています。



農業委員研修・交流会

農業委員としてできることは？

モデル事例を学び、分科会で討議

今年度の農業委員研修・交流会は、以下の通り行われました。基調講演の後、3～4班に分かれ、地域農業の再構築を進めるための課題や実践について、情報交換し、議論を深めました。今回は、北部だけでなく、南部ブロックの分科会でも、集落営農の大切さが強調されたのが特徴で、「個人営農は限界に来ている。いきなり集落営農は難しくても、若手のサラリーマン農家に、水管理や畦草刈りから共同化しよう」と提起しているといった動きが報告されました。

ブロック	対象農業委員会／参加人数	開催日／会場
北 部 ブロック	亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市 舞鶴市、福知山市、宮津市、与謝野町 伊根町、京丹後市／70名	2月18日(月) サンプラザ万助 (福知山市)
南 部 ブロック	八幡市、京田辺市、井手町、宇治田原町 木津川市、和束町、笠置町、精華町 南山城村／65名	2月25日(月) CIK ビル (京田辺市)
都 市 ブロック	京都市、向日市、長岡京市、大山崎町 宇治市、城陽市、久御山町／55名	3月1日(金) ルビノ京都堀川 (京都市)

府内の女性農業委員49名が加入する「きょうと女性農業委員の会」が2月20日総会を開催し、4月からの活動計画を決定しました。平成25年度を「目に見える成果につながる年」と位置づけ、食育や儲かる農業をテーマに取り組みを強化していくこととなりました。特に直売や6次産業化、行政施策に関する研修会、視察などに取り組みを併せて、農業委員への女性の登用を一層、進めるため、地域での女性農業者の育成・支援と関係機関への働きかけを強化することが確認されました。

食育による野菜中心の食文化の復活について
説く平田さん



また、総会前の研修会では、「京野菜の魅力と食育」と題して、初代京野菜マイスターの平田宗子さんが講演を行いました。

平成25年度の活動計画を確認

きょうと女性農業委員の会

これまでの主な取り組み

(8月～)

8月

- 中丹地域農業委員合同研修会 (綾部市)

10月

- 農業者年金加入推進特別大会 (京都市)
- 平成25年度京都府農林施策と予算に関する要望 (京都市)

11月

- 農場づくり推進班長情報交換会 (福知山市)
- 東海・近畿ブロック女性農業委員研修会 (静岡県浜松市)
- 農地相談出張窓口を設置 (京都市、精華町)

12月

- 全国農業委員会会長代表者集会 (東京都)
- 第22回京都府農業委員会広報コンクール審査会

1月

- 京力農場づくり推進大会 (京都市)

2月

- ブロック別農業委員研修・交流会(～3月)
- きょうと女性農業委員の会総会、研修・交流会
- 近畿ブロック女性農業委員研修会 (京都市)
- 農業委員会広報研修会 (京都市)

3月

- モデルファーム協定調印式 (京都市)
- 全国女性農業委員ネットワーク総会、女性農業委員活動推進シンポジウム (東京都)
- 農業委員会実務者会議・研修会 (京都市)

第22回京都府農業委員会広報コンクール

「京丹後市農業委員会だより」が7連覇

平成24年に京都府内の農業委員会が発行した広報紙のできばえを競う「第22回京都府農業委員会広報コンクール」の審査会が開かれ、京丹後市農業委員会の「京丹後市農業委員会だより」が金賞に選ばれました。

京丹後市農業委員会は平成18年以降7年連続でトップの座についたこととなります。

今回のコンクールには、21農業委員会の広報紙がエントリー。

「京丹後市農業委員会だより」は、発行回数の多さ、農業委員自らの編集による話題の豊富さと身近な紙面づくりが高く評価されました。

〈受賞委員会〉

金賞 (京都府知事賞)

京丹後市農業委員会『京丹後市農業委員会だより』

銀賞 (全国農業会議所会長賞)

京都市農業委員会『京都市農委だより』

銅賞 (京都府農業会議会長賞)

京田辺市農業委員会『きょうたなべ のうぎょう委員会だより』

南丹市農業委員会『南丹市農業委員会だより なんとん』

奨励賞

舞鶴市農業委員会『まいづる農業委員会だより』

※ 平成24年1～12月に発行された広報紙を対象に実施



日頃の成果をよるこびあう編集委員のみなさん(京丹後市)

京力農場プランと農地対策の推進へ 「推進班長」を先頭に

今年度から各委員会で「推進班長」を選任し、農業会議の「支援員」と連携して、「京力農場プラン」づくりや遊休農地の発生防止対策を推進しています。

農業委員会として「まずは、できることからやってみよう」を合い言葉に、地域で様々な取り組みを進めましょう。

できることからやってみよう!(活動例)

- 京力農場プランの作成が必要と思われる候補地のリストアップ
- プラン候補地のリーダーとの懇談会の開催、アンケートの実施
- 担い手(農業法人、認定農業者、集落営農組織)との懇談会の開催
- 他地域の担い手と連携した持続的な農地保全システムの提案
- 市町村に対するプラン候補地の提案
- プランを推進しやすくするための施策提案(要望)

平成二十五年農林水産関係当初予算案が府議会上に提されています。京都市農業会議では、昨年十月、「平成二十五年京都府農林施策と予算に関する要望」をとりまとめ、①「京力農場プラン」づくりの推進、②土地利用型の農業経営者の育成、③農村への移住・定住を前進させるための空き家活用推進、④有害鳥獣被害の半減対策などを要望していました。その内の多くが、この予算案に反映される形となりました。

代表的なものとしては、丹後国営開発農地のスケールメリットを活かした大規模野菜作を研修する「農業経営実践型学舎づくり事業費」(新規六、九九五万)、農村への移住・定住対策を支援する「明日のむら人移住促進事業費」(新規五、一二五万)、鳥獣捕獲員の短期育成研修、隣接府県との広域捕獲、個体処分の推進等を内容とする野生鳥獣被害総合対策事業費(一部新規四億八七〇万)など。

予算編成にむけ、草木会長から山田京都府知事に要望書が手渡されました(昨年10月)



農政活動で施策実現
農業会議の要望
平成25年度府農林関係予算案に反映

会議員の異動

〈1号会議員〉

京都市・再任 中村 安良

(11月7日)

常任会議だより

農地法等諮問案件の審議のほか、次の課題を協議しました。

第370回常任会議 (8月22日)

協議

- ①平成25年度京都府農林施策への提案について(素案)
- ②第106回総会等の運営について

第371回常任会議 (9月26日)

協議

- ①平成25年度京都府農林施策への提案について(案)

第372回常任会議 (10月24日)

報告

- ①京都府産農産物の海外輸出の現状について

第373回常任会議 (11月29日)

第374回常任会議 (12月19日)

報告

- ①京力農場プランづくりの進捗状況について
- ②京都府内における新規就農の現状について

第375回常任会議 (1月23日)

第376回常任会議 (2月27日)

報告

- ①平成25年度京都府農林関係予算案について

協議

- ①平成25年度京都府農業会議事業計画案について
- ②第107回総会の運営と提出議案について

【農地法諮問案件の審議件数】

(8~3月)

第4条	57件	22、374㎡
第5条	200件	212、112㎡
計	257件	234、496㎡
【土地区画整理法の審議件数】	1件	19.8ha

〈会議員現地調査件〉

- 農地法に基づく諮問案11件
- ・9月7日(京田辺市)
- ・9月11日(南丹市)
- ・10月12日(福知山市)
- ・10月12日(京丹後市)

- ・10月16日(亀岡市)
 - ・10月16日(京丹波町)
 - ・11月14日(京都市)
 - ・11月16日(福知山市)
 - ・11月16日(与謝野町)
 - ・12月7日(京丹後市)
 - ・12月10日(木津川市)
- 土地区画整理法に基づく照会案件・1件
- 9月13日(城陽市)

出版案内

『農業委員のための研修テキストシリーズ5 農地パトロール、利用状況調査のすすめ方』

●農業委員会活動の基本である利用状況調査の実施方法、遊休農地の所有者に対する指導までを最新の国の通知に基づいて解説。



コード24-14 400円

『最新事例に学ぶ人・農地プラン作成の勘所』

●人・農地プラン作成の事例集。す

でに作成が進んでいる全国の市町村の事例から、プラン作成にあたっての課題を乗り越える秘訣を「勘所」として紹介。



コード24-38 100円

『平成25年度からスタートする 経営所得安定対策のあらまし』

●農業者戸別所得補償制度に代わる経営所得安定対策について、改正点を含め、簡潔に解説。

コード24-39 100円

改訂版『新・よくわかる農地の法律手続き』

●農地法、農業経営基盤強化促進法、市民農園整備促進法の運用について、関係書類の様式や記入例を示し、わかりやすく解説した実務者必携の図書。

コード24-34 2000円

